

やんばらあ～ねっと 2013年10月 第25号

沖縄県条例の歩み

いま な じりつせいかつ ちち きん しんもん のぼり びょういん
今は亡き自立生活の父でもあった筋ジストロフィーの新門登さんが病院での

く なんめい びょういん なか しせつ なか う いのち ちいきしゃかい なか
暮らしで、何名も病院の中や施設の中でも生まれてきた命を、地域社会の中

せいかつ お ひと おお ぼく びょういん しせつ ちいき
で生活することなく落としていた人が多くいたので、「僕は病院や施設じゃなく、地域

しゃかい なか じんせい ふつう せいかつ おも じりつせいかつ はじ
社会の中で人生を普通に生活していきたいんだ」という思いで自立生活を始め

につぽん せいどてき ふび げんじょう し よこ ねむ
られた。そこには、日本の制度的な不備の現状を知り、ベッドに横になって眠りたくても

かいじょしゃ よこ じゅうど しよう すわ ねむ ひ
介助者がいないと横になれない重度の障がいなので、座ったまま眠る日もあり、

ほんとう にんげん ふつう く くる ひび いちにん
本当に人間らしい普通の暮らしができなく苦しんだ日々もあったそうです。一人の

にんげん ちいき あ まえ せいかつ おく さいご びょうき たたか ぬ じぶん
人間として地域で当たり前の生活を送り、最後まで病気と闘い抜き、自分らしく

せいかつ おも じんせい こと いぜんかた
生活できてよかったですと思える人生にしたいという事を以前語っていました。そういった

かんてん じゅうど しよう いのちかがや よ なか しよう も
観点から、重度の障がいがあっても命輝けるような世の中、障がいを持ってる

かた も かた ふつう く きょうせい しゃかい けつせいしきなら
方も持っていない方もともに普通に暮らしやれる共生の社会をつくりたく結成式並び

しよう とうじしゃ かんけいだんたい よ はじ
に障がい当事者や関係団体に呼びかけが始まりました。

じちたい う みち なま しえん
そこで、自治体のヘルパーサービスを受ける道すじをつくり、仲間の支援をやりつけ、これから

う生まれてくる仲間にとって住みよい環境にするために条例を作ろうと、自立生活セン

タイルカ内で20名余りの人数で結成式が始まり、シンポジウム、勉強会、フ

オーラム、様々な事を行ってきた。

その中に、うちなーTRYで署名活動三万五千百三名を集め、ムーブメントを

つくりだ
作り出した。

これは、障がい当事者の一人一人の力が重なり合って沖縄県民に障が

いを持っている人の現状や障壁の理解を応援してくれる介護者や地域の人た

ち、他県や海外の人たち、OTVなど報道陣と共に深め、改善を求めていったから

こそ、このような多くの方が署名してくれたものだと思います。まさしく、これが市民立法で
す。

この署名を障がいのある人もない人も命輝く条例づくりの会が沖縄

県知事に条例案と署名を直接手渡しました。それから県民会議が立ち上がり
ました。

県民会議では様々な議論や、福祉関係団体から取り調査をし、差別事例

を集め、分析するなど、パブリックコメントの意見を聞いていく中、県民会議の魂

である前文が入り、見直し条例も反映された。

県議会の中でも一般質問などもあり、本会議でも全会一致でH25,10,11

かけつせいつしろうこころのこな
可決し成立した。26,4,1から施行です。) まだみんなの心に残っている亡くなつていつた

なかましゃしんすがたかけつしゆんかんみとど
仲間の写真の姿とともに可決の瞬間を見届けた。

その後のセレモニーでは、ケントミバンド、指笛王国おきなわの演奏などがあり、多くの

けんみんかたじょうれいかけつよろこび
県民の方が条例可決の喜びをわかちあつた日となりました。

じょうれいぶんこんごおきなわけんほけんふくしか
条例文は今後、沖縄県保健福祉課のホームページで掲載される予定です。

M.A

第9回フィールドトリップin名護

ことしなごまちなつこうれいだい
今年も名護の街に夏恒例の大イベント

きふしき
「フィールドトリップ」の季節がやってきました！こ

じきおきなわたいふうきふし
の時期の沖縄は台風の季節でもあり、

まいとしたいふうくこ
毎年台風が来るか来ないかでひやひやしな

じゅんびすすことし
がら準備を進めておりますが、今年は

せいてんづしあいこう
晴天続きでなんの心配もなく、イベント当日もきれいに晴れ上がって最高のロケーションでした。



フィールドトリップの目的はバーベキューや稚魚の放流やスイカ割りをする中で、楽しさ

まなにんげんかんけいこうちくたか
ら学び人間関係の構築を高めていき、自己信頼の回復を取り戻していくこと、

なら きょうせい しゃかい とも あゆ まいとしおこな
並びに共 生 の社 会を共 に歩 めるよう に毎 年 行 っています。

ことし さんかしやにんずう
そして今年の参加 者 人 数 はなんと 135

めい かこさいこう
名 で過去 最 高 となりました！ダスキン 愛 の

わききん きゅうしゅう おきなわ じっこう
輪 基金や 九 州・沖 縄 エリア 実 行

いいん ちいき ふくしかんけいしゃ みな
委員、地域の福祉 関 係 者 の 皆さん、

かか みな
関 わってくられたすべての 皆さん、ありがとうございました！



とし お ひろ かつどう こんご かつどう じぞく
年を追うごとにどんどん 広 がっていくこの活 動、今後もこの活 動 を持続させ、ますます

かつどう わ ひろ
活 動 の輪を 広 げていきたいです。

さんかしや みな とど かんそう しょうかい しめん つごう
それではここからは参加 者 の 皆さんから届けられた感 想を 紹 介 します。紙 面の都合

じょういちぶばつし
上 一部 抜 粋 させていただきました。ご りょうしょう 了 承 ください。

ことし くるまいす ひと つか うみ たの はい
今年もたくさんの車 椅 子 の 人 たちが チエアボートなどを 使 って 海 に 楽 しそう に 入 ってたのを

み きかく すば おも
見たときにつくづくこの企画は素晴らしいものだなあと 思 いました。

R・H

あそ ばしょ どうぐ ちゅうい ひつよう
遊ぶ場所や道具など注意が必要なところ

おも
もあったと思いました。

Y・N



ことし かた てつだ
今年もダスキンの方たちが手伝ってくれたおかげ

げでクリアボートに乗れました。天気も良かつたのでとってもいい気持ちでした。

R・T

こんかい はつさんか おきなわ ぜんにんしゃ たの かつどう き
今回が初参加で、ダスキン沖縄エリアの前任者より楽しい活動ということは聞いた

ておりましたが、これこそまさに“期待以上の楽しさ”でした。

O・T

いつしょ たの こと
一緒にになって楽しむ事ができました。ただ、

すこ きぬ ちゅう
少し気を抜いていたのか、レクリエーション中

にケガをしてしまい、途中から病院に行って

さんか こと でき こんかい
参加する事が出来ませんでした。今回のフィ



たいへんめいわく
ールドトリップでは大変迷惑をかけてしまいました。

Y・G

さかな ほうりゅう さい てぎわ おも
魚を放流する際、もうちょっと手際よくできたのではないかと思いました。

M・T

かい かさ さまざま くふう ほんとう こころ かんしゃもう あ
回を重ねるごとに様々な工夫がされており本当に心より感謝申し上げます。

しぜん こどもたち すがた まいからまいからかんどう
自然とたわむれる子供達の姿には毎回毎回感動するばかりです。

T・M

さんか まえ くるまいす かた からだ ふじゆう かた まち み こえ ゆうき
参加する前は車椅子の方や体の不自由な方を街で見かけても声をかける勇気が

はんにちいつしょ す きも ちか うれ
ありませんでした。半日一緒に過ごしてみて、こんなに気持ちが近づけるんだなあと嬉しく

おも
思えた。

C・I

しようがいしや かたがた だい かんが
障害者の方々を第1に考え、これ

つづ かつどう おも
からも続けていける活動になればと思いま
す。

T・H



こんかい かいめ さんか みな
今回で4回目の参加?となります、皆

うれ えがお まいとしよ
さんの嬉しそうな笑顔は毎年良いものですね?

ぎ わ たいこうせん たの おも
グループ決めをし、「スイカ割り対抗戦?」みたいなレクがあるともっと楽しいかな?と思いま
す。

M・K

ちゅういじこう かいすいよくじ はだし こと そうさほうほうとう くわ
注意事項として海水浴時には裸足にならない事やチエアボートの操作方法等を詳

はな よ く じかい お ちゅうい よ か ぜんいん
しく話せば良かったと悔やまれます。次回はケガが起きぬよう注意を呼び掛け、全員が

たの えがお す いちにち でき どりよく
楽しめ、笑顔で過ごせる一 日 に出来るよう努力したいです。

M・M

虐待防止&県条例

ぎやくたいぼうし けんじょうれい 虐待 防止 & 県 条 例

にちめほくぶ にちめちゅうなんぶ
1日目 北部、2日目 中南部、2

にちかん ぎやくたいぼうし
日 間 にわたり、虐待 防止セミナーに

さんか
参加しました。



さくねん がつ ぎやくたいぼうしほう しこう
昨 年 10 月 に 虐 待 防止 法 が 施 行 さ

れ、また、沖 縄 県 障 がい 者 権 利 条 例 が 制 定 さ れ、これか ら の 障 がい 当 事 者 、

ぼく やくわり ぎやくたいぼうしほう じょうれい みぢか かんが
僕らの役割もこの虐待 防止 法 と 条 例 を リンクし、身近なところから 考えて い ける

かいさい
よ う に と 開 催 さ れ ま し た。

ぎょうせい かんけい い かん し ょう と うじし ゃ おお かた さんか うれ かん
行 政 な ど の 関 係 機 関 や 障 がい 当 事 者 な ど 多 く の 方 が 参 加 し て 嬉 し く 感 じ ま し
た。

じょうき ほう じょうれい ひつよう いま し ゃ かい けんじょうし ゃ し て ん
この 上 記 の 法 や 条 例 が な ぜ 必 要 な の か と い う と 、 今 の 社 会 は 健 常 者 の 視 点

し ょう し ゃ ち い き ふ つ う く お も さ ま ざ ま し ょう へ き
か ら つ く ら れ 、 い ざ 障 がい 者 が 地 域 で 普 通 の 暮 ら し を し ょう と 思 つ て い も く 様 々 な 障 壁

はば げんじょう に 阻まれているという 現状 があるからです。

ぼく けんじょうしゃ しょく かた せいかつ なに し
僕が 健常者 だったころは、障がいをもっている 方の 生活 について 何も 知りませんで

しょく しゃ ちいき せいかつ なか ぎやくたい すぐ しょくへき
したが、障がい者 になって 地域で 生活 する 中で 虐待 や、 凄ましい ほど の 障壁 が

あることを 知りました。

たと おきなわ すうじゅうねんまえ ちてきしょく しゃ かた ようごがっこう で
例えれば、この 沖縄 でも 数十 年前に 知的 障がい者 の 方が 養護学校 を出で

じりつせいかつ ぎやくたい いのち お た ちてきしょく
自立 生活 をしたのですが、 虐待 によって 命 を落としてしまいました。 他には、 知的 障

だんせい ようぎしゃ だんじょ にん すうかい わ げんきん まんえんいじょう おど
がいの 男 性 が 容疑者 の 男 女 2人 から 数回 に 分けて 現金 100万 円 以 上 も 脊

と ひじょう かな じじつ
し取られました。 非常に 悲しい 事実 です。

ぎやくたい はつけん ひと けん しちょうそん
虐待 を 発見 した 人は 県や市町村

つうほう けん しちょうそん
に 通報 して ほしい です。 県や市町村 は

こういきそうだんせんもんいん いたく
広域 相談 専門員 に 委託 しても いい こ

こういきそうだんせんもん
と なっている のですが、 広域 相談 専門



いん おきなわけん わり はいぢ ぎやくたい ぼうし むずか おも
員 は 沖縄 県 で は 2割 が 配置 されて い ない ので 虐待 を 防止 する のは 難しい と 思

ぎやくたい ぼうし けん せきむ よさん かくほ じんいん ふ
い ます。 虐待 を 防止 する ため に は 県 の 責務 として、 予算 を 確保 して 人員 を 増やし、

けんしゅうかいとう しょく とうじしゃだんたい そだんいん いくせい ひつよう
研修会 等で 障がい当事者 団体 や 相談員 を 育成 していく こ が 必要 だ と

おも
思 い ます。

あとひとじょうれい しょうりゆう さべつ きんし ふくし ていきよう
後一つ条例ですが、障がいを理由とする差別の禁止、福祉サービス提供、

いりょう ていきよう ていきよう こよう けんちくぶつとう ふどうさんとりひき いし
医療の提供、サービスの提供、雇用、建築物等、不動産取引、意思の

ひょうめい じゅりよう じょうほう ていきよう さべつ きんし きょういく きかい ふよ
表明の受領、情報の提供における差別の禁止、教育における機会の付与

などこういったことが記載されています。

ぎやくたい われわれ ほう じょうれい かつよう ちいきしゃかい か
虐待をなくすためには、我々がこの法や条例を活用して地域社会を変えてい

くことにあるかと思ひます。関心を持って活用していき、次第にこの地域社会を障が

いのある人もない人も共に暮らせる共生の社会にしていきたいと思ひます。

さんか みなさま
参加された皆さん、ありがとうございました。